かぜ・そら・たいよう クラスだより

円町まぶね隣保園，2022．3．24

3月

来月から新しい生活が始まろうとしています。
暖かい春の日差しに包まれながら、さらに大きくなった子どもたちの成長を これからも見守っていきたいと思います。

かぜぐみ

◎ たいよう組へ

早いもので 今年度も最終月となりました。卒園する たいよう組のお別れ会の時に 渡すプレゼントで 写真入れを作りました。クリアファイルに 子どもたちが好きに 絵を描きます。厚紙で作った 土台にアルミホイルを くしゃくしゃにした物を貼って、その上に絵を描いたファイルを重ねて貼っていきます。表面は保育者が仕切った線の中を 1つ1つ丁寧に塗っていきます。遊びの中でも、ぬり絵が好きで きれいに塗れるようになってきたので、「虹色にする～！」と楽しんで塗っていました。裏面は 好きな絵を描き、「これは○○ちゃんと遊んでるところ～！」「いつも一緒に遊んでくれたなぁ。」「○○くんに渡すねん～！」「たいようさん喜んでくれるかなぁ？」と たいよう組の姿を思い浮かべながら作っていました。日常の中でも、「たいようさんいつ小学校行かはるん？」と聞いたり、保育室に貼っている給食の献立を見て、「ここ（卒園式の日を指差して）で もうバイバイなんこ」「さみしいなぁ」と友だちと話したり する姿があります。子どもたちなりに、たいよう組が 卒園するということを感じているようです。今まで一緒に遊んでくれたり、気にかけてくれたりする 優しいたいよう組さんへ、お別れ会で渡すのを 楽しみにしている子どもたちです。

◎ 園外保育

園外保育で二条公園に行きました。かぜ組最後の園外保育で、子どもたちも「2と2の日！」「お休み終わったらお弁当や！」と楽しみにしていました。お天気も心配されましたが、遠足日和の良いお天気となりました。「公園まだ～？」「早く遊びたいなぁ！」「ここお家の近くや～！」と会話しながら 散歩を楽しみます。公園の桜が 少し咲き始めているのが 見えてきて、「うわ～！」と到着に期待を膨らませる 子どもたちです。遊具がある場所を順番に移動して遊びました。うんていや 斜めシーソーなどの遊具で友だちと遊んだり、小川で生き物を探したり、小川を渡れる石のところをジャンプするのを 何度も楽しんでいました。楽しくなって「あ…！」と足がドボンと川に入ってしまう場面もあったり、川の浅いところをジャンプして 水しぶきがあがるのを楽しんだり、友だちと顔を見合わせて 笑う姿があります。ロープタワーでは 1段目で「怖い…」とロープにしがみついていた子どもも、慣れてくると、少しずつ上へと足を進める姿がありました。1番上まで行けた子どももいて、「やっほー！」と嬉しそうです。他にも ブランコや 大きなすべり台で遊び、沢山身体を動かしました。楽しみにしていたお弁当の時間になり、開けて嬉しさを噛みしめたり、友だちと見せ合ったり、青空の下で「おいしいなぁー」とお弁当をいただきました。帰りは暑さもあり、疲れて くたくたでしたが、お昼寝起きには「楽しかったなぁ！」「また遠足行きたい！」と いきいきした表情で伝えていました。

1年間 ありがとうございました！

そらぐみ

今月は絵の表紙作りや たいよう組へのプレゼント制作を取り組んできました。プレゼント制作では「メモ貼り」を作りました。1年間の中で たいよう組の子どもたちと毎日関わり、交流で色々な場所に散歩にも行きました。関わる中で教えてもらったりすることもあり、憧れを持って過ごしてきたこともあり、「たいようさんのために」と気持ちをこめてプレゼントも作りました。

子どもたちは「もうすぐたいよう組になる」と毎日のように言っており、大きくなったことを一人ひとりが感じ、喜んでいるようです。4月に比べ、身も心も大きくなる中で様々な葛藤を乗り越えることもありました。4歳児の発達段階の中で、周りの友だちや大人との関わりがさらに楽しくなり、会話を通して思いを伝え合っています。その中で「すごいな」と共感したり、「同じようにやりたいけど、上手くいくか分からない」といった気持ちもあり、自信をなくしてしまうこともありました。そら組になって、今までは楽しいと思えることにさらに少し頑張ることも増え、クラスとしてのまとまりも少なかったように感じます。子ども一人ひとりのペースも違い、「やりたくない」と活動に参加しようとしない子どももいて、友だちとの間でも意見の交換が上手くいかず、口から出た強い言葉を受けた子どもが涙してしまう事もありました。保育者とともに話を聞き，心を動かす中で「こんな気持ちだった」「これではいけない」「こうしていこう」とじっくり話をすることで相手の気持ちを知り、また、みんなで向き合えたと思います。そういった経験をしたことで徐々にみんなでやりたいといった気持ちも生まれてきたのではないかと思います。次はいよいよたいよう組ですが、子どもたちなりに期待もあり、不安もあると思います。新しい行事も増えてきますので、楽しみつつ、一緒に考えながら、また1つ大きくなっていってほしいなと思います。

今年度も色々と支えてくださり、ありがとうございました。

たいよう組

○ お別れ遠足

夏にお泊まり保育で行った、八瀬野外保育センターに行ってきました。市バスとえいでんを乗り継いで山道を登りやっと到着。夏にお世話になった、センターの"たかちゃん"が迎えてくれると「たかちゃーん！あいたかったー」と みんなでとびついていました。芝生広場で もぐらの穴や自然物を見つけたり、築山で鬼ごっこをして遊んでから、お弁当です。最後のお弁当、とっても喜んで食べていました。昼からは山を散策。魔女の家が近づくと「また まじょ いるかも…？」と心配くなってきた子どもも、「てっないでいこう」と友だちに誘われ、「よし！みんながいるし、だいじょうぶや！！」と手をつなぎ全員で入りました。中は暗くて ひんやり…と そこでポムちゃんの手紙とプレゼント発見しました。大喜びも束の間、「ちょっと でかけています」の魔女の掛け札も見つけた子どもたち。「はやくでよう！かえってくるかも？」と大急ぎで魔女の家を後にしたのでした。アスレチックに登ったり、サルの見張り台で「やっほー！」とやまびこあそびをして楽しんでいました。最後の園外保育。天候にも恵まれ、また一つ、たいよう組での思い出が増えたと思います。

○ もうすぐ小学生♪

たいよう組に進級して、"ぼくたちがいちばんお兄さん お姉さんだ"と張り切っていた子どもたちの姿を思い出します。この保育園生活で身体だけでなく、心もたくさん動かして大きく成長してきました。年長でしかれんげつみ、ザリガニつり、お泊まり保育に運動会、クリスマス、雪あそび等、友だちと色んな経験をし、楽しい、悔しい、面白い、悲しいをみんなで感じ、仲間の絆を深めてきました。それぞれの思いの違いからぶつかることもあり、その度に何度も話し合い、自分の思いを伝えることを繰り返し、相手とどう折り合いをつけていくか、それぞれが悩み考えてきた1年でした。そんなみんなの思いがピタリと合った時の一体感に何度も感動しました。そして新しいことにも"やってみたい""おもしろい"が子どもたちの心の中に膨らんでいました。苦手なことにチャレンジすること、あきらめずに自分の目標に向かったこと、頑張りや好奇心がこれからの人生の土台となることを願っています。4月から小学生。色々な所で戸惑ったり、困ることがあると思いますが、立ち止まったりしながら、自分の力を信じてそれぞれの良い所を伸ばしていってほしいと思います。

そら組から2年間、ありがとうございました。
いつも応援しています！